

令和5年度 鏡が丘特別支援学校
学校評価



令和6年2月



沖縄県立鏡が丘特別支援学校

〈各学部・管理職による自己評価〉

◎：よくあてはまる ○：ややあてはまる △：あまりあてはまらない ×：全くあてはまらない

n=99 回答率99/99=100%

	No.	評 価 項 目	評価欄 %			
			◎	○	△	×
学校経営	1	児童生徒一人一人の「自立と社会参加」を目指し、学校教育目標や学部の教育目標を意識しながら教育活動を行っている。	41.4	55.6	3	0
	2	教育目標の達成のため学習指導要領に基づき適切に教育課程を編成している。	41.4	54.5	4	0
学習指導	3	児童生徒の履修・習得状況を適切に把握し、個別の指導計画を作成して学習指導を行っている。	46.5	49.5	4	0
	4	児童生徒が主体的に学習に取り組めるように、実態に応じて教材を工夫するなどして授業改善に努めている。	61.6	36.4	2	0
	5	児童生徒の学びを3観点で適切に評価し、通知表等を通して本人や保護者に伝えている。	51.5	41.4	6.1	1
	6	児童生徒一人一人に、丁寧に適切な指導・支援を行っている。	65.7	32.3	2	0
	7	「主体性」や「生きる力」を意識し、キャリア教育の視点を取り入れた授業やその他教育実践を行っている。	31.3	62.6	6.1	0
	8	授業では教材・教具、コミュニケーション代替手段等を含めICT機器を有効に活用している。	44.4	47.5	8.1	0
	9	社会に開かれた教育課程の実現に向け、交流や外部人材の活用を含め、地域や他校・企業・外部機関と連携・協働した学習活動を行っている。	29.3	50.5	19.2	1
人権	10	児童生徒の人権を侵害するような言動にならないよう気を付けている。	83.8	16.2	0	0
	11	日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に務めている。	64.6	29.3	6.1	0
保健安全	12	児童生徒が健康な生活を送れるよう、保護者との情報共有や保健室との連携に努めるとともに、保健指導や健康教育に取り組んでいる。	77.8	22.2	0	0
	13	児童生徒が安全安心な学校生活を送れるよう、教室等の学習環境に気を配り、緊急時シミュレーションや避難訓練・研修を行っている。	64.6	35.4	0	0
	14	給食(舎食)は、児童生徒が食べやすい食形態等で提供されている。	84.8	14.1	0	1
進路	15	(中・高等部)進路相談や進路指導を適切に行っている。 (小学部)小学部段階からキャリア教育に取り組んでいる。	46.5	45.5	7.1	1
	16	学校は進路部を中心に職業講話や進路だよりなどを通して、将来の進路や職業などについて必要な情報を提供している。	54.5	40.4	5.1	0
専門性・服務	17	専門性の向上と学校の課題解決に向けて校内研修に主体的に参加している。	58.6	37.4	4	0
	18	コンプライアンス研修を実施したり、職員同士声を掛け合ったりして法令順守と服務規律の遵守に務めている。	56.6	40.4	3	0
	19	会計マニュアルに即して適切に会計処理を行っている。	75.8	20.2	3	1
設備	20	施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。	43.4	46.5	9.1	1
働き方	21	働き方の改善のため業務効率化に取り組んでいる。	28.8	53.5	17.2	1

〈寄宿舍職員による自己評価〉

◎：よくあてはまる ○：ややあてはまる △：あまりあてはまらない ×：全くあてはまらない

n=14 回答率14/16=87.8%

	No.	評 価 項 目	評価欄 %			
			◎	○	△	×
生活指導	1	舎生一人一人の「自立と社会参加」を目指し、学校教育目標や寄宿舍の目標を意識しながら指導・支援を行っている。	57.1	35.7	7.1	0
	2	「個別の生活指導計画」を作成し、舎生の自立に向けての指導・支援方法を寄宿舍指導員全員で共通確認を行っている。	64.3	35.7	0	0
	3	舎生一人一人に、丁寧に適切な指導・支援を行っている。	85.7	14.3	0	0
	4	保護者面談や寄宿舍参観、お便りの発行、日々の連絡等を通して、保護者との情報共有に務めている。	78.6	21.4	0	0
	5	舎生が充実した寄宿舍生活を送れるよう舎の行事等を工夫して企画している。	64.3	35.7	0	0
	6	舎生の主体性や自立心、協調性を育むために、必要に応じて相談に乗るなど舎生に寄り添った指導・支援を行っている。	78.6	21.4	0	0
	7	舎生が見通しをもって規則正しく過ごせるよう、生活環境を整えている。	64.3	28.6	7.1	0
人権	8	舎生の人権を侵害するような言動にならないよう気を付けている。	78.6	21.4	0	0
	9	日頃より、いじめの実態把握に努め、舎生が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に務めている。	71.4	28.6	0	0
環境整備	10	舎生が安全な寄宿舍生活を送れるよう、生活環境に気を配り、定期的に点検を行ったり改善を図ったりしている。	85.7	14.3	0	0
	11	施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、生活環境や職場環境を整備している。	57.1	28.6	14.3	0
学舎連携	12	学部と寄宿舍が連携して舎生の指導・支援ができるよう、情報交換に務めている。	50	42.9	7.1	0
服 務	13	コンプライアンス研修を実施したり、職員同士声を掛け合ったりして法令順守と服務規律の遵守に務めている。	78.6	14.3	7.1	0
働 き 方	14	働き方の改善のため業務効率化に取り組んでいる。	28.6	64.3	7.1	0

〈事務現業職員による自己評価〉

◎：よくあてはまる ○：ややあてはまる △：あまりあてはまらない ×：全くあてはまらない
n=31 回答率31/31=100%

	No.	評 価 項 目	評価欄 %			
			◎	○	△	×
教育	1	教職員は児童生徒一人一人の「自立と社会参加」を目指し、学校教育目標や学部の教育目標を意識しながら教育活動を行っている。	45.2	48.4	3.2	3.2
業務	2	施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。	29	48.4	22.6	0
	3	職場内での協働体制がとれている。	38.7	54.8	6.5	0
	4	業務処理の正確性、計画性を図ることができている。	25.8	67.7	6.5	0
	5	安全性に気を配り業務を行っている。	61.3	35.5	3.2	0
服 務	6	法令順守と服務規律の遵守に務めている。	77.4	19.4	3.2	0
働 き 方	7	働き方の改善のため業務効率化に取り組んでいる。	29	67.7	0	3.2

〈児童生徒による評価〉

◎：よくあてはまる ○：ややあてはまる △：あまりあてはまらない ×：まったくあてはまらない
n=18

	NO	アンケート項目（こうもく）	◎	○	△	×
学校や先生に関すること	1	がっこう いくのが たのしい。 学校に行くのが楽しい。	61.1	22.2	0	16.7
	2	ともだちは やさしく、なかよす することができている。 友だちは優しく、仲良く過ごすことができている。	77.8	22.2	0	0
	3	がっこう 学校では、いじめや ぼうりょく がない。 学校では、いじめや暴力がない。	83.3	5.6	5.6	5.6
	4	せんせい 先生は げんき あか で明るい。 先生は元気で明るい。	78.2	22.2	0	0
	5	せんせい 先生は ことば づかいが いていねい である。 先生の言葉づかいはいいである。	77.8	16.7	5.6	0
	6	せんせい 先生は、よく ほめて くれる。 先生は、よくほめてくれる。	61.1	33.3	0	5.6
	7	たんじん 先生の ほかにも、きがる に 相談 や 話 の できる 先生 が いる。 担任の先生の他にも、気軽に相談や話のできる先生がいる。	55.6	27.8	11.1	5.6
	8	しょうがくぶ 文化祭・うんどうかい 宿泊行事 などの 学校行事 は、たのしみ である。 (小学部)文化祭・運動会・宿泊行事などの学校行事は、楽しみである。	55.6	38.9	0	5.6
	9	ちゅうこうぶ 学校行事 (文化祭・うんどうかい やどはくぎょうじ) は、いろいろな かつどう が あり 工夫 されている。 (中・高等部)学校行事(文化祭・運動会・宿泊行事など)は、いろいろな活動があり工夫されている。	66.7	27.8	5.6	0
	10	しょうがくぶ 児童会 活動 は、いろいろな かつどう が あり たのしい。 (小学部)児童会活動は、いろいろな活動があり楽しい。	66.6	33.3	0	0
授業に関すること	11	せんせい 先生 方が 教え 方を 工夫 してくれるので、じゅぎょう が わかり やすい。 先生方が教え方を工夫してくれるので、授業がわかりやすい。	77.8	22.2	0	0
	12	せんせい 先生 は、じゅぎょう で わからない ことを いていねい に 教えて くれる。 先生は、授業でわからないことをいいに教えてくれる。	77.8	22.2	0	0
	13	せんせい 先生 は、いのち の 大切 さ や 社会 の ルール について 教えて くれる。 先生は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる。	72.2	22.2	5.6	0
	14	じゅぎょう 授業 では、自分の 考え を まとめて 発表 したり する 活動 が よく ある。 授業では、自分の考えをまとめて発表したりする活動がよくある。	72.2	27.8	0	0
	15	じゅぎょう 授業 では、ともだち と 話し 合い や 相談 など を する 活動 が ある。 授業では、友だちと話し合いや相談などをする活動がある。	55.6	38.9	0	5.6
	16	しょうがくぶ 授業 では、実習 や 物づくり、実験 などの 体験 学習 が あり たのしい。 (小学部)授業では、実習や物づくり、実験などの体験学習があり楽しい。	66.7	33.3	0	0
	17	ちゅうこうぶ 授業 では、実習 や 物づくり、観察・実験 などの 体験 学習 が よく 行われ ている。 (中・高等部)授業では、実習や物づくり、観察・実験などの体験学習がよく行われている。	61.1	38.9	0	0
	18	じゅぎょう 授業 では、せんせい が パソコン や iPad など を 使い ながら 説明 したり、自分で 使 ったり している。 授業では、先生方がパソコンやiPadなどを使いながら説明したり、自分で使ったりしている。	72.2	27.8	0	0
	19	しょうがくぶ 自分 の 将来 の 夢 や 目標 を もっている。 (小学部)自分の将来の夢や目標をもっている。	72.2	27.8	0	0
給食・安全に関すること	20	なか 自分 自身 の 将来 を 考える 時間 が ある。(キャリアパスポート を 活用 している) (中・高等部)自分自身の将来を考える時間がある。(キャリアパスポートを活用している)	56.6	38.9	5.6	0
	21	きょうがくぶ 校外 学習 や 他校 と の 交流、オンライン 学習 など が あり、内容 も 工夫 されて いて たのしい。 校外学習や他校との交流、オンライン学習などがあり、内容も工夫されていて楽しい。	72.2	16.7	11.1	0
	22	きょうがくぶ 給食 は 栄養 が 考え られて いて、おいしい。 給食は栄養が考えられていて、おいしい。	66.7	27.8	5.6	0
		地震 や 火事 の ときは どう すれば よいか 授業 など で 習い、よく 知っている。 地震や火事の場合はどうすればよいか授業などで習い、よく知っている。	77.8	22.2	0	0
		感染症 にかからない よう、手洗い や 消毒、マスク を すること、密 に ならない こと など を、みんな で 気 を つける ことが でき ている。 感染症にかからないよう、手洗いや消毒、マスクをすること、密にならないことなどを、みんなで気をつけることができている。				

令和5年度 学校関係者評価の結果

【評価方法】

各評価項目ごとに、下記の評価基準でチェックし評価をお願いします。

A	十分に適切な評価がなされている	C	あまり適切な評価になっていない
B	適切な評価がなされている	D	評価結果に対する検討が必要

1. 各学部職員・管理職の自己評価

	評価項目	A	B	C	D
評価1	学校経営について、評価項目を適切に設定し、評価されているか。	3	2		
評価2	学習指導について、評価項目を適切に設定し、評価されているか。	3	2		
評価3	その他の項目について、評価項目を適切に設定し、評価されているか。	3	2		
評価4	<p>★各学部職員・管理職の自己評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○学部の取組状況の報告からは、開かれた教育課程を意識した内容が報告されていたが、先生方の評価では、「あまり当てはまらない」の項目が他と比べて高い。これは教師が取り組んでいる教育課程の内容について、どのような位置付けで行っているのか、活用する目的は、例えば「活動が子どもたちの指導・支援にどのように結びついているのか」を意識が十分でないのでは。教師が日頃の教育実践について、子どもたちの目標達成のためにどのようにつながっているのかを確認し進めていくことではないでしょうか。指導と評価の一体化を意識することで、先生方の実践への意義が明確になると思います。</p> <p>○学校経営の項目に家庭・地域社会への情報発信に関する項目を設定する必要はありませんか？確か昨年度の評価で求められていたかと思えます。特別支援学校の役割として、地域のセンター校的な立場を担い、障がい特性理解の啓発を含め、学校理解の促進のためにも明文化することで意識化できるのかと思えます。ご検討ください。それと保護者による評価の「保護者との連携」の項目1～3についてを「各学部・管理者用」にも設定する必要はありませんか？ご検討ください。</p>				

2. 寄宿舎職員の自己評価

	評価項目	A	B	C	D
評価5	寄宿舎の生活指導について、評価項目を適切に設定し、評価されているか。	4	1		
評価6	その他の項目について、評価項目を適切に設定し、評価されているか。	4	1		
評価7	<p>★寄宿舎の自己評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○昨年度は各学部職員と同じ項目内容での評価でしたが、今年度は、舎の取り組みが丁寧に評価される項目内容の設定になっていて、適切になっていると思いました。とても良かったと思います。</p> <p>○学校と寄宿舎の連携について、情報交換のみではなく、具体的な評価項目があるとよいのでは。個別の教育支援計画及び個別の指導計画を活用した取組、日頃の子どもの情報交換、家庭との連携等の項目を挙げて確認することで、改善部分が見えてくるのではないのでしょうか。</p>				

3. 事務現業部職員の自己評価

評価項目		A	B	C	D
評価8	事務現業部について、評価項目を適切に設定し、評価されているか。	4	1		
評価9	<p>★事務現業部の自己評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○昨年度の評価項目に比べ、シンプルに整理された内容になっていたと思います。ただ、事務・現の職員の方々は、本校の子どもたちの障がい特性理解と保護者対応理解に関する研修や教職員との情報共有の機会をどのように保証されているのかが、気になりました。</p> <p>○教職員と事務との連携や情報の共有の在り方を問うような評価項目があっても良いかな。</p>				

4. 保護者による評価・意見

評価項目		A	B	C	D
評価10	保護者の評価・意見について、評価項目を適切に設定し、評価されているか。	2	3		
評価11	<p>★保護者による評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○とても小さなことですが、保護者用の評価は、各項目の文章(文末)表記を直接問いかけられているような表現にしてはどうですか？民間企業のアンケート等ではそのような表記を見かけます。例えば、「～伝えている」→「伝えていますか」のようにです。ご検討ください。</p> <p>○多様な子どもがいるように、保護者も多様です。その中で学校経営をしていくことは大変だと思います。保護者を味方につけるとよいことはご理解していると思いますが、現状は様々な保護者対応に追われていると思います。PTAと連携し、保護者同士が気兼ねなく繋がれるピアカウンセリングの場がもてるとよいですね。</p>				

5. 児童生徒の評価・意見

評価項目		A	B	C	D
評価12	児童生徒の評価・意見等について、具体的項目を設定し、評価されているか。	4	1		
評価13	<p>★児童生徒による評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○子どもの意見は、児童会・生徒会を巻き込んで評価をすると、子どもたちの学校を良くしていこうとする意識にもつながるのでは。</p> <p>○子供たちが自分は何をしたいのか、または、何を自分は求められているのかについて、その発達段階に則した問い方も少しずつ異なる発問があるとよい。もし可能なら、必要に応じて各学級において、個々の思いを引き出す取り組みを工夫すると良いと思います。</p>				

令和5年度 学校評価及び各アンケート分析と考察

沖縄県立鏡が丘特別支援学校

I はじめに

本校では学校評価の結果を分析・検討・周知し、年度内に学校運営改善に活用するため9月～10月に学校評価を実施している。その結果を受け、どのような取り組みをするべきかの提案を行った。

今年度の学校評価における各アンケートの集計結果を分析・考察し、各部署で課題の共有を図り、必要な項目について説明や改善策の検討を行った。

II アンケートの概要

1 教職員による自己評価及び保護者・児童生徒のアンケートの概要

今年度は教職員による自己評価を、「各学部・管理職」、「寄宿舍」、「事務現業部」に分け、それぞれ評価項目を設定して実施した。教職員の自由記述に関しては今年度も「業務改善に向けたアイデア」として意見を集約した。なお、今年度より教職員による自己評価及び保護者のアンケートは記名式で行った。

(アンケート集約者＝主幹教諭以外は回答者がわからないよう匿名性に配慮して集計・公表を行った。)

2 アンケート集計について

教職員のうち各学部・管理職 99 名、寄宿舍職員 16 名、事務現業部職員 31 名（会計年度任用職員含む）に記名式のアンケートを依頼し、回答を得た。（回収率 99%）。また各学部の保護者 98 名に記名式のアンケートを依頼し、62 名から回答を得た。（回収率 63.2%）。昨年課題だった保護者アンケートの回収率は、forms での回答を積極的に呼びかけたこともあり、昨年の 47.1%から向上した。

児童生徒については、小学部から高等部までの I 課程・II 課程 A の児童生徒 18 名にアンケートを実施（必要な児童生徒については教師が設問を説明）し、全員から回答（回収率 100%）を得た。自由記述も設けたが、今年度は回答が無かった（表 1）。

表 1 アンケート対象者と回答率

		対象	人数	回収数	回収率
教 職 員	各学部・管理職	校長・教頭・事務長・小中高教諭・実習助手・養護教諭	99	99	100%
	寄宿舍	寄宿舍指導員	16	14	87.8%
	事務・現業部	事務現業職員、栄養士、看護師、会計年度任用職員	31	31	100%
保護者		小中高保護者	98	62	63.2%
児童生徒		小中高 I 課程・II 課程 A	18	18	100%

Ⅲ アンケートの分析及び考察

アンケート結果（パーセンテージ）より「◎よくあてはまる」と「○ややあてはまる」を良好な評価（以下、「良好な評価」とする）とし、「△あまりあてはまらない」と「×全くあてはまらない」を検討の必要な評価（以下、「検討が必要な評価」とする）とする。アンケートの集計結果をもとに今年度の学校運営の状況と関連付けて分析・考察を行う。

1 高評価と捉えられる項目

(1) 各学部・管理職（◎「よくあてはまる」が7割以上）

- ・児童生徒の人権を侵害するような言動にならないよう気を付けている。 83.8%
- ・児童生徒が健康な生活を送れるよう、保護者との情報共有や保健室との連携に努めるとともに、保健指導や健康教育に取り組んでいる。 77.8%
- ・給食（舎食）は、児童生徒が食べやすい食形態等で提供されている。 84.8%
- ・会計マニュアルに即して適切に会計処理を行っている。 75.8%

今年度はコロナ5類移行やインフルエンザの流行等があった中で、保護者・保健室との情報交換と連携による対応が必要になる機会が多かったことも評価に反映されていると考える。会計処理に関してはいっそうの適正化を図るべく、各会計担当者が管理する学校徴収金の厳重保管と出入金の徹底した管理を行ってきたことが高い自己評価に繋がったと思われる。

(2) 寄宿舎（◎「よくあてはまる」が7割以上）

- ・舎生一人一人に、丁寧に適切な指導・支援を行っている。85.7%
- ・保護者面談や寄宿舎参観、お便りの発行、日々の連絡等を通して、保護者との情報共有に務めている。 78.6%
- ・舎生の主体性や自立心、協調性を育むために、必要に応じて相談に乗るなど舎生に寄り添った指導・支援を行っている。78.6%
- ・舎生の人権を侵害するような言動にならないよう気を付けている。78.6%
- ・日頃より、いじめの実態把握に努め、舎生が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に務めている。71.4%
- ・舎生が安全な寄宿舎生活を送れるよう、生活環境に気を配り、定期的に点検を行ったり改善を図ったりしている。 85.7%
- ・コンプライアンス研修を実施したり、職員同士声を掛け合ったりして法令順守と服務規律の遵守に務めている。 78.6%

全体的に舎生一人一人に対し、丁寧な生活指導・支援に努めていることがうかがえる自己評価となっている。

(3) 事務・現業部（◎「よくあてはまる」が7割以上）

- ・法令順守と服務規律の遵守に務めている。77.4%

公金等の処理や、医療的ケアなど厳密な処理や正確な処置が求められる業務に携わることから、こういった点を強く意識しながら業務にあたっていると言える。

(4) 児童生徒（◎「よくあてはまる」の割合が高かった主な項目）

- ・友だちは優しく、仲良く過ごすことができている。77.8%
- ・学校では、いじめや暴力がない。83.3%
- ・先生は元気で明るい。78.2%

- ・先生の言葉づかいはていねいである。77.8%
- ・先生方が教え方を工夫してくれるので、授業がわかりやすい。77.8%
- ・先生は授業でわからないことを丁寧に教えてくれる。77.8%
- ・感染症にかからないよう、手洗いや消毒、マスクをすること、密にならないことなどを、みんなできをつけることができている。77.8%

児童生徒による評価は概ね良好である。引き続き一人一人に応じた丁寧な指導・支援に努めていきたい。

(5) 保護者 (◎「よくあてはまる」の割合が高かった主な項目)

- ・学校は子どもの学習の様子や内容を連絡帳・面談・学級(学年)通信等で適切に知らせている。85.2%
- ・学校は保護者が子どもの様子について連絡・相談したことについて適切に対応を行っている。83.6%
- ・通知表は、子どもの学習の様子を適切に評価し、伝えている。80.3%
- ・子ども一人一人に応じて、丁寧に適切な指導・支援をしている。80.3%

保護者による評価も概ね良好である。担任との情報共有を含めた連携、児童生徒に応じた指導・支援に対し良い評価をいただいたと考える。

(6) 昨年度と比較して改善傾向が見られる項目 (◎の割合)

対象	項目	設問	R4	R5
各学部	進路情報の提供	学校は進路部を中心に職業講話や進路だよりなどを通して、将来の進路や職業などについて必要な情報を提供している。 ※R4の設問「将来の進路や職業などについて参考となる情報を提供している。」	37.9%	54.5%
事務現業	法令遵守の徹底	法令順守と服務規律の遵守に務めている。 ※R4の設問「全職員が協働し、法令遵守の徹底（個人情報保護等を含む）に全力で取り組んでいる。」	25.0%	77.4%
児童生徒	学校生活の充実	学校に行くのが楽しい。	45.8%	61.1%
	友人関係	友だちは優しくて、仲良く過ごすことができている。	62.5%	77.8%
	児童生徒会活動	(小学部)児童会活動は、いろいろな活動があり楽しい。 (中・高等部)生徒会活動は、いろいろな活動や交流を工夫して行うことができている。	50.0%	66.7%
	授業改善	先生は授業でわからないことをていねいに教えてくれる。	62.5%	77.8%
	授業改善	授業では、自分の考えをまとめたり発表したりする活動がよくある。	54.2%	72.2%
	授業改善	授業では、友だちと話し合いや相談などをする活動がある。	41.7%	55.6%
	授業改善	(小学部) 授業では、実習や物づくり、実験などの体験活動があり楽しい。 (中・高等部) 授業では、実習や物づくり、観察・実験などの体験学習がよく取り入れられている。	50.0%	66.7%
	キャリア教育	(小学部) 自分の将来の夢や目標をもっている。 (中・高等部) 自分自身の将来を考える時間がある。 (キャリアパスポートを活用している)	50.0%	72.2%

	感染対策	コロナにかからないよう、手洗いや消毒、マスクをすること、密にならないことなどを、みんなで気をつけることができている。	60.3%	77.8%
保護者	保護者との連携	学校は子どもの学習の様子や内容を連絡帳・面談・学級(学年)通信等で適切に知らせている。 ※R4の設問「学校は学習の様子や内容を懇談・学校便り・学級(学年)通信等で適切に知らせている。」	71.4%	85.2%
	保護者との連携	学校は保護者が子どもの様子について連絡・相談したことについて適切に対応を行っている。	73.5%	83.6%

主に授業改善と保護者との連携に関して評価が向上している。授業改善は教科別指導への移行に伴い、教職員による教材研究が進んだこと、主体的で対話的な授業が増えてきたことによるものと推測される。保護者との連携に関しては、今後も全職員誠実な対応に努めていきたい。

2. 評価が低かった項目

(1) 各学部・管理職 (△「あまりあてはまらない」×「全くあてはまらない」が2割以上)

- ・社会に開かれた教育課程の実現に向け、交流や外部人材の活用を含め、地域や他校・企業・外部機関と連携・協働した学習活動を行っている。 20.2%

(2) 寄宿舍 (△「あまりあてはまらない」×「全くあてはまらない」が2割以上)

- ・なし

(3) 事務現業 (△「あまりあてはまらない」×「全くあてはまらない」が2割以上)

- ・施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。22.6%

(4) 児童生徒 (△「あまりあてはまらない」×「全くあてはまらない」が2割以上)

- ・なし

(5) 保護者 (△「あまりあてはまらない」×「全くあてはまらない」が2割以上)

- ・なし

(6) 昨年度と比較して評価が顕著に低下したと思われる項目 (△×の割合)

- ・なし

(7) その他、評価が低めであった項目

- ・働き方の改善のため業務効率化に取り組んでいる。(教職員◎28.8%、寄宿舍◎28.6%、事務現 29%)

社会に開かれた教育課程に関しては、昨年に引き続き評価が低めであった。働き方改革についても改善の必要性を感じている職員が多い。

IV 学校評議員による助言

- ・学校の取組の発信が弱い。公に学校を知ってもらふ取組はもっと上手になる必要がある。教員のみならず校内のいろいろな職種の取組も発信してもよいのではないか。
- ・特別支援学校の専門性を地域の小・中学校等にもっと発信してほしい。また教職員の取組の共有を進めてほしい。
- ・児童生徒達が、何を何のために学んでいるのか、何が身についたのかについて意識したり自覚したりできるようにする必要がある。単に授業や行事等が「楽しかった」で終わるのではなく、卒業後の就労等も見据えながら将来必要な資質・能力について考える機会をしっかりとつことが大切。
- ・「社会に開かれた教育課程」に関しては、その意義や意味を教職員全員が理解することが必要。教職員同士が情報共有するしくみづくりを。様々な取組が点であって面になっていない印象を受ける。そこを面にしていくしくみを考えていくことが大事。同じようなことを教師がそれぞれで取り組んでいるので、教師間で共有していくことで学校組織として（面として）有効な取組になる。またそれが結果的に教職員の働き方改革にもつながるのではないか。
- ・保護者の中でも進路先について度々話題になる。地域で進路先を探すのが難しくなっている現状がある。そういった声を（学校と連携しながら）どう挙げていくかが課題。
- ・アフターコロナに伴い、学校行事やPTA行事が復活することで、児童生徒達の笑顔が増えている印象。児童生徒も教職員も楽しめるPTA行事をPTAとして考えていきたい。
- ・児童生徒の学校生活が充実していることがうかがえた。特に交流及び共同学習が本格的になってきている。買い物学習では、卒業後の生活を具体的にイメージするとしたら、洗剤やシャンプーなど日常生活用品を購入する学習も必要ではないか。困っていることを自分の言葉で伝える練習を。
- ・小学部の高学年から進路の意識付けができたらい。

V 改善に向けて

ここでは、評価が低かったアンケート項目や、自由記述の結果・要望等の中から、本年度の重点目標を実現する上で、特に改善が必要な点を中心に取り上げる。尚、保護者自由記述に対する、対応等については別に回答した。

1. 児童生徒が明るく快適で安全な学校生活を送れるような教育環境の安全確保

方針	老朽化や故障など設備の修繕が必要な箇所について迅速な対応を行う。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員による定期的な校舎設備点検 ・教室棟・管理棟外壁等改修工事（令和5年11月～令和6年3月） ・体育館の屋根修繕（令和6年2月） ・北フロア2Fクーラー故障に伴う新規空調設置 ・北フロアにクーラー移設（3台） ・寄宿舎ボイラー更新（令和6年2月） ・寄宿舎プレイルームにクーラー設置予定（令和6年3月） ・教室棟・管理棟の大規模改修工事（空調）（令和6年予定） ・校舎の長寿化改修工事に向けて基本設計開始→令和6年工事発注予定

2. 社会に開かれた教育課程に向けて

方針	<p>○小学部1年生～高等部3年生にいたるまで、生活年齢の異なる多様な実態の児童生徒が在籍していることから、それぞれの実態とニーズに応じた学部単位、学年・学級単位、授業単位での、地域、地域人材、他校と「協働する学び」（双方にとって学びのある機会の創出）、「社会に参画する学び」を推進。</p> <p>○地域、地域人材、他校と「協働する学び」「社会に参画する学び」の事例を蓄積・共有しながら教職員の共通理解と資質向上を図り、社会と協働・参画する実践の発展につなげる。</p> <p>○社会情勢の変化を踏まえ、卒業後の社会参加を見据えた、本校児童生徒に身に付けさせる資質・能力を明確にする。</p>
改善方法	<p>○地域、地域人材、他校と「協働する学び」、「社会に参画する学び」の実践事例を蓄積成果やノウハウについて、teams等を用いて教職員間で共有する。また学校HP等で実践を積極的に紹介・発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニクロ「届けよう服の力」プロジェクトへの参加 ・首里城ニービボランティア ・浦西中とのボッチャ交流 ・能登半島地震への募金活動 ・与勝高との交流及び共同学習 ・ボッチャ部によるボッチャ体験事業への協力（県教育センター事業への協力） <p>○進路先、実習先、利用する福祉事業所等からの情報収集、保護者の願いの集約等により、本校児童生徒に身に付けさせる資質・能力を整理する。</p>

3. 学校教育の情報発信

現状と方針	各学級・学年だより、寄宿舎、保健だより、給食だより、進路だより、HP、マチコミメール等で情報を伝えているが、施設設備の修繕、安全教育や防災訓練、私費会計の適正処理、職員研修等については保護者向けのおたより等には掲載しない場合がほとんどで、保護者からは見えにくい点となっている。こういった点も含めて学校の教育活動全般にわたる情報を発信していくことで学校教育への理解を促進したい。また、地域や本校への入学・転学を検討している児童生徒への理解促進も兼ねて学校HPにおける情報発信を強化する。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学校HPにて学校の教育活動に関する記事を掲載する。（保護者から普段見えにくい施設修繕や防災訓練、その他学校の業務等についても発信） ※現在は学校HP移転作業中のためHPへの記事掲載を控えている。

4. 教職員のモラルの徹底（言葉遣い・態度・身だしなみ・個人情報の保護等）

方針	信頼される学校・信頼される教職員を目指し、教職員の言葉遣い・態度・身だしなみ・個人情報保護等に関して、再度徹底を図る。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の言葉遣い・態度・身だしなみ・個人情報の保護に関して、コンプライアンス研修を定期的実施する。 ・管理職から全体終礼等で定期的注意を行う。 ・各学部終礼や寄宿舎等においても定期的注意喚起を行う。

5. 医療的ケア体制の再点検

方針	現在実施している医療的ケア体制の再点検を行い、安全な実施に向けて確認事項等を強化。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時の4者チェックの徹底 ・コロナ禍中縮小していた緊急時シミュレーション再開、各学部1回以上の計画立案 ・緊急時の主治医指示内容を確認できるよう様式作成、看護師間で共有 ・学校医相談の活用 ・医ケア内容に関し判断が難しい場合、県の医ケア委員会への照会 ・緊急時A、Bマニュアルの見直し ・医ケア新規申請者の主治医受診同行

6. SDGsな働き方改革

方針	教職員の働き方改革が求められている。業務の効率化・合理化を図ることで教育の質の向上につなげる。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌を中心に効率化の可能な業務の洗い出し、統合・代替・廃止・簡素化 ・授業・教材のアイデア等の共有（teams）、データベース化（KGM教材データベース） ・単元シートの作成と共有 ・校内研修のオンデマンド・コンテンツ化を検討 ・学校評価に働き方改革に関する項目を追加